

# ニューズレター



きめ細かな  
支援で癒す  
心の傷

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
公益社団法人 かがわ被害者支援センター



## 公益社団法人 かがわ被害者支援センター

事件、事故等の被害者及びそのご家族に対して、精神的支援その他の各種支援活動を行うとともに、社会における被害者支援意識の高揚を図り、地域安全並びに被害者等の被害の回復及び軽減に寄与することを目的に設置された団体です。

## 役員・正会員のご紹介

### 役員（敬称略）

役職	氏名	所属機関等
理事長	伊賀 三千廣	元香川県公安委員会委員長 学校法人関西学園法人本部 常務
副理事長	松田 和也	医師（香川県医師会常任理事）
副理事長	齊藤 真吾	弁護士（香川県弁護士会犯罪被害者支援委員会委員長）
専務理事	中川 義広	当センター事務局長
理事	大木 祐治	四国学院大学文学部教授
理事	田中 良子	高松大学名誉教授
理事	牟禮 昌忠	株式会社ムレコミュニケーションズ代表取締役社長
理事	大森 邦彦	四国新聞社専務取締役総務局長
理事	平野 美紀	香川大学法学部教授
理事	野田 法子	香川県婦人団体連絡協議会会長
理事	中村 朝宏	一般財団法人香川県交通安全協会専務理事
監事	高木 一郎	税理士
監事	和田 武志	香川県警友会連合会会長

顧問	山崎 善久	香川県警察本部警務部長
----	-------	-------------

### 正会員（敬称略、順不同）

団体名	団体名
一般財団法人 香川県交通安全協会	株式会社 四国新聞社
一般社団法人 香川県医師会	公益財団法人 香川県防犯協会連合会
一般社団法人 香川県警備業協会	公益財団法人 香川県暴力追放運動推進センター
一般社団法人 香川県トラック協会	四国旅客鉄道 株式会社
一般社団法人 香川県指定自動車学校協会	四国電力 株式会社 香川支店
医療法人社団 昌樹会ウツミ整形外科医院	高松信用金庫
香川県安全運転管理連絡協議会	ネッツトヨタ高松 株式会社
香川県弁護士会	野村證券 株式会社 高松支店
香川県警友会連合会	株式会社 百十四銀行
株式会社 タダノ	香川県商工会議所連合会
株式会社 香川銀行	一般社団法人 香川経済同友会
株式会社 たいよう共済香川支店	自動車安全運転センター香川県事務所
株式会社 ムレコミュニケーションズ	

## 賛助会員のご紹介

### 賛助会員（敬称略、順不同）

団 体【1口：1万円以上】	
有限会社 ジュエルヒラタ	馬場法律事務所
日本司法支援センター香川地方事務所 (法テラス香川)	株式会社 多田文房堂
	四国特機 株式会社
香川県婦人団体連絡協議会	四国ネコス 株式会社
平成機工 株式会社	株式会社 エースユニフォーム
香川県遊技業協同組合	富士印刷 株式会社
株式会社 高松アセットビルディング	株式会社 中央印刷所
有限会社 エイトヒルズ・コーポレーション	株式会社 アイコー印刷
三豊ライオンズクラブ	四国トラステック 株式会社
株式会社 富士クリーン	株式会社 パブリック
平井法律事務所	株式会社 ときわ美装
川東法律事務所	高松ライオンズクラブ
株式会社 田中海事	四国交通共済協同組合
株式会社 ホンダ四輪販売四国	株式会社 福島商会

(平成31年1月末現在)

個 人【1口：千円以上】			
松岡 康博	末吉 としみ	沖 哲生	
松岡 定幸	田中 永	玉井 邦芳	
藪下 俊一	田中 良子	佐々木 美知代	
安藤 晃	穴吹 勇人	山内 高雄	
岡 義博	安藤 修二	前川 宗正	
河村 正章	秋月 智美	谷本 美樹	
高畑 満	井上 庄司	眞鍋 夏海	
大前 知義	小谷 幸雄	伊賀 三千廣	
野崎 徹	田中 優子	篠原 賢一	
大木 祐治	中村 朝宏	隅田 和宏	
小林 正則	尾崎 俊彦	川口 能孝	
青井 富子	堤 健	三浦 正章	
河野 美智子	平野 美紀		
高木 一郎	高畑 克行		
小林 欣一	直井 昇	匿名の方	5名

(平成31年1月末現在)

## 被害者支援講演会開催

### 「性暴力と生きることのリアル」 ～性的安全・健康が守られる社会を目指して～

講師 一般社団法人Spring 代表  
山本 潤 氏

11月16日、香川県社会福祉総合センターで性暴力被害者支援看護師（SANE）として活動されている山本潤さんによる講演会が開催されました。

山本さんは、性暴力は被害者に大きなダメージを与えて深刻なトラウマを起し、被害からの回復は非常に困難な道のりであることを実体験を踏まえて話されました。

講演の中で、「隣の人に初体験のことを詳しく話してください」と山本さんに言われ、会場に緊張が走る場面もありました。これは、性暴力に合った56%の人が被害体験を誰にも打ち明けていないという実状を知り、どれほど話しにくいことを体験するためにされた質問でした。実際に隣の人に話すことはなかったのですが、被害者の話しにくい心情を実感できたように思いました。

また、性犯罪起訴率が下がり続けていること、わいせつ行為で処分された公立教職員が過去最多であったことを取り上げ、性的安全・健康が守られる社会とはいいいがたい現状を問題視されました。

さらに、山本さんは2017年に改正された刑法について、暴行脅迫が要件とされること、13歳を性交同意ができる年齢としていること、時効があること等まだ改善すべき課題があり、3年後の見直しに向けて動き出す必要があると訴えました。

当日は130名が参加し、力強い言葉で語られる山本さんの話に聞き入りました。

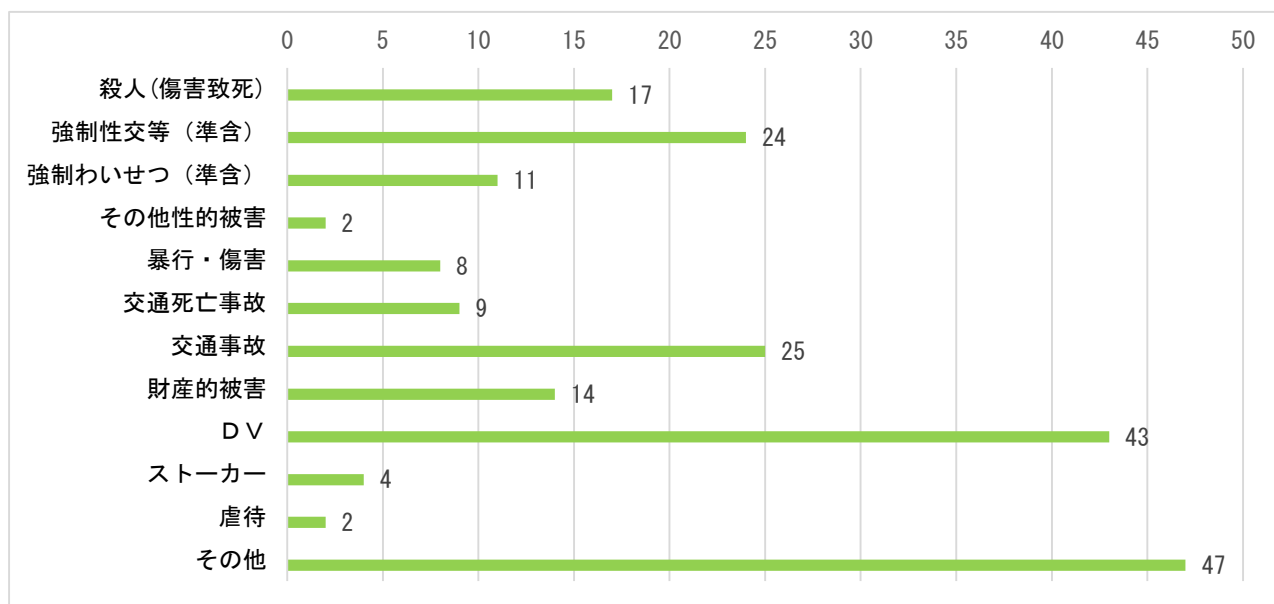


# 相談状況

— 平成 30 年中 —

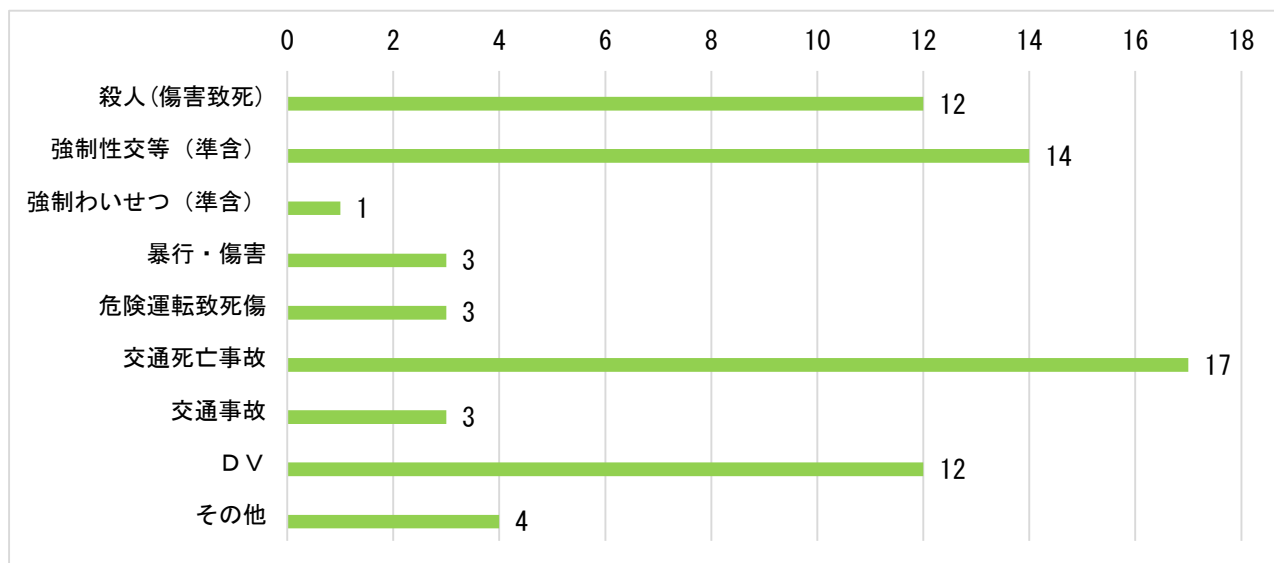
## 1 電話相談被害罪種別件数

電話相談の受理総数は 206 件で、被害内容を罪種別に見てみますと、DV被害、強制性交等罪に関する相談を多く受理しています。



## 2 面接相談被害罪種別件数

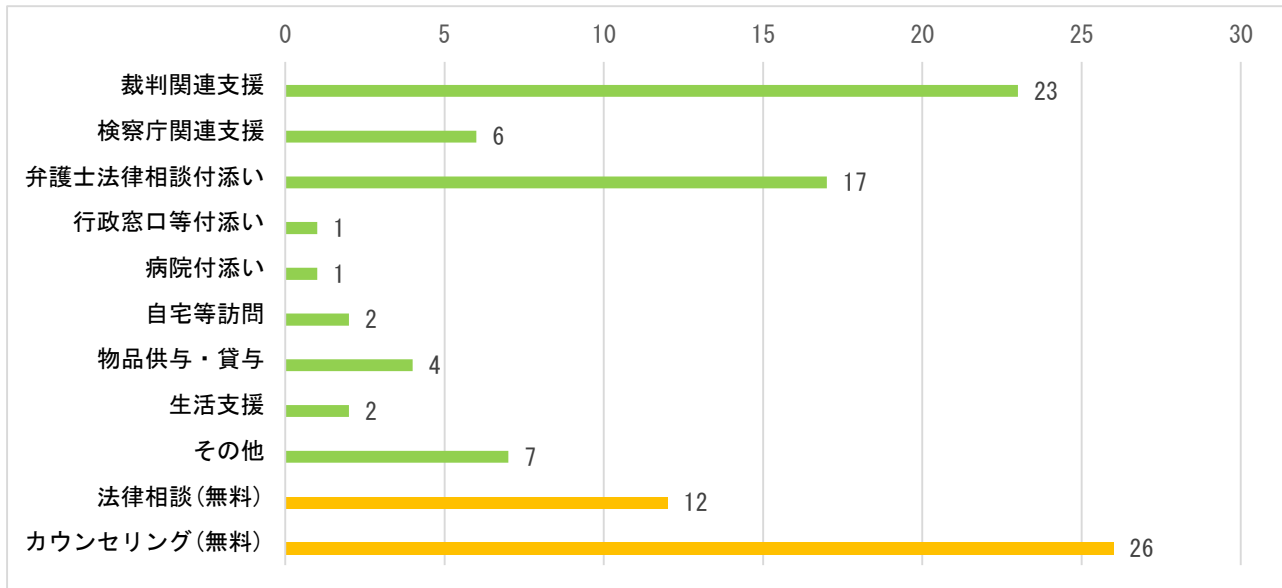
面接相談の受理総数は 69 件で、被害内容を罪種別に見てみますと、強制性交等罪が 14 件、交通死亡事故が 17 件と多く受理しています。



### 3 直接的支援内容別件数

電話や面接相談の結果、必要に応じて法律相談や心理相談などを行っており、法律相談 12 件、心理相談 26 件実施しています。

また、ご要望に応じて裁判所や検察庁、行政窓口等への付添い支援を行っています。



## 犯罪や交通事故などの被害でお悩みの方に…

- どこに相談したらよいのか分からなくて困っている。
  - ・ 法律や裁判のことが分からない。
  - ・ 誰にも分かってもらえない。でも誰かに話を聴いてもらいたい。
- 事件後、からだや心の調子が悪い。
  - ・ 事件の夢を見る。
  - ・ 不安や無力感、孤独感を感じる。
  - ・ 自分に責任があると自分を責める気持ちになる。
- 何かをする気力が出ない。

～ 私達にお電話ください ～

相談電話 087-897-7799

受付時間 月～金曜日 午前10時～午後4時  
(祝日、年末年始は除きます)

相談・支援は無料で行います。秘密は固く守ります。



かがわ被害者支援センター  
シンボルマーク

## 命の大切さを学ぶ教室

平成 30 年度は香川県警察と連携して、中学生・高校生を対象にした「命の大切さを学ぶ教室」を中学校 2 校、高校 7 校で実施し、今後高校 1 校で実施予定です。

講師は犯罪や交通犯罪の被害者ご遺族にお願いしました。

生徒達は真剣な表情でご遺族の話をお聞き、改めて命の大切さを学び、犯罪や交通事故を起こしてはならないという意識の向上を図ることが出来ました。



## 実 施 校

<平成 30 年度>

開催月	中 学 校	開催月	高 校
12 月	三木町立三木中学校	9 月	県立琴平高校
	綾川町立綾南中学校	11 月	県立高松東高校 県立高松工芸高校
		12 月	県立香川中央高校 私立坂出第一高校
		1 月	県立石田高校 県立多度津高校
		3 月(予定)	私立英明高校

### 2019 年度 実施校募集中!

2019 年度も 10 校程度の中学校、高校で開催を予定しています。

全校生、学年対象どちらでも可能です。講師への依頼や送迎などは当支援センターと県警察が行います。

実施についてのご依頼やご質問がある場合は、ご説明におうかがいしますので、ご連絡をお願いします。

<連絡先>

(公社) かがわ被害者支援センター事務局 (087) 897-7790

## 受賞

### 第8回「命の大切さを学ぶ教室」全国作文コンクール(警察庁主催)

同コンクールは、犯罪被害者らが実体験を語る「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中・高校生から命の大切さや被害者支援に関する作文を募集し、全国の作文の中から優秀な作品を選定しているもので、今回は県内から中・高校生2名が受賞されました。

<中学生の部>

警察庁長官官房給与厚生課被害者支援室長賞

「命の重み」

高松市立国分寺中学校3年 浪越 愛理 さん

「ある日突然、大切な人に会えなくなったら……？」そう聞かれると、決して他人事とは思えませんでした。今回の講演を聞いていなければ、テレビで流れる死亡事故のニュースを見ても、「また死亡事故があったのか、かわいそうに。」というだけで終わっていたかもしれません。実際に交通事故は毎日のように起こっていて、遠いようで実は身近な存在だということを改めて感じました。

事故は思いがけない時に起こってしまうもので、被害者の幸せなど知ったことじゃないというように時間を選んではいくれないし、その人の未来全てを奪ってしまいます。しかし、そのことをわかってはいても、「ちょっとくらいなら」という理由でルール違反をしてしまう人がたくさんいるのが今の現状です。少しの油断で人の命まで左右されてしまうという事実をもっと感じるべきだと思いました。被害者だけでなく、ずっと一緒に過ごしてきた家族や友人、命を救うことができなかった救命医さんなど、様々な人の気持ちを考えると、言葉にできない感情がこみ上げてきます。

私の家族を思ってみても、命は何にもまして重いものだと感じます。私の曾祖母の兄は二十歳で戦死していて、母の両親は母が小学生のときに病死しています。かたちは違えど、命に対して年齢や原因は関係なく、いつも近くにいる存在がなくなってしまうこと自体、耐え難いものだと実感させられます。しかし、失ってからその存在の大きさに気づかされることがあるように、生きているこの瞬間に命の大切さを常に意識し生活していくのは難しいことなのかもしれません。そのことが影響しているのか、私の周りでも「死ね」という言葉を軽々しく使っている人がたくさんいます。その言葉を受け取る側の気持ちはどうでしょう。命の時間は自分で決めることができないからこそ大切にしようと思えるのに、他人の言動で変えられてしまうことはあってはならないと思いました。

それから、私が「お姉ちゃん」になった日。母のお腹の中に宿った小さな命の存在がどのようなものなのか、小学生の私にはよくわかりませんでした。しかし、まだ見たこともない命を愛してやまない両親の姿を見ていると、その存在が家族にとってどれだけ大切なものなのか、幼いながらもしっかりと感じ取れました。妹が生まれるまでには嬉しいことばかりではなく、苦しい思いもしているのに、それよりも愛情のほうが大きくて、母は全く苦とは感じていない様子でした。それほどの愛情を込められて生まれてきた子と家族との関係は、誰にも壊す権利などありません。だから私は、両親からもらった大切な命を今まで以上に大事にしていこうと思います。そして、相手の立場に立って考え、行動できる人になりたいと思います。



## <高校生の部>

### 警察庁長官官房給与厚生課被害者支援室長賞

#### 「当たり前を守られる社会に」

香川県立石田高等学校3年 勝田 早野果 さん

今、日本では一年間で約百三十万人の方が亡くなっています。病気や自殺、老衰など死因はいろいろだと思いますが、その中でも私は今回学校で受講した「命の大切さを学ぶ教室」をきっかけに、交通事故について考えました。交通事故で亡くなっている人は、例えば二〇一七年の一年間は三六九四人です。前年度と比べて減少傾向ではありますが、それでもかなりの数の人が交通事故で亡くなっていることが分かります。

では、なぜ私が交通事故の死亡者数に注目したかという、私自身が高校で自転車競技部に所属していて、交通事故に出会う機会が多いからです。自転車競技とは、競技用の自転車で公道や競輪場を走り、順位を争う競技です。スピードも普通の自転車とは比べものにならないくらい速く、下り坂では自動車並みの速さが出ます。自転車競技部に入部してから、交通事故を起こして大怪我をした人を何人も見てきました。私も入部して一ヶ月ぐらいの自転車に慣れてきた時期に、スピードの調整ができず前を走っている人の車輪にぶつかり、落車してしまったことがあります。その時、頭を強く打って、記憶も失くしてしまいました。自分では詳しいことは覚えていませんが、一緒にいた先生によると、腕や足から血が出て、ヘルメットも割れていて、とても危険な状況だったそうです。

自転車競技は危険なスポーツなので、私が入部する時は両親に強く反対されました。しかし、私は自転車競技の危険性について深く考えず、ただ自分のやりたい気持ちだけで、親の反対を押し切って入部しました。事故を起こした時も記憶がなかったので、その後も自転車に乗ることへの恐怖心は無く、軽い気持ちで事故のことを考えていました。しかし両親や先生、先輩方がとても心配してくださり、また事故直後の話を聞いていくうちに、自分のしたことの重大さに気づかされました。この時の事故は、私が一人落車しただけで済みましたが、他の人を巻き込んでいたらと思うと、とても怖くなりました。交通事故は自分だけではなく、周りの人も巻き込む可能性があり、関わった人達の人生を変えることにもなりかねないということを、深く心に留めておこうと思いました。

また、父の友人に、バイク事故が原因で下半身不随になり、車いすでの生活を余儀なくされた人がいます。その人は事故当時の記憶がなく、気がついた時には病院のベッドの上で、下半身が全く動かない状態になっていたそうです。事故の相手は、責任を感じて自殺をしてしまったと聞きました。この話を聞いて、一瞬の油断が自分の人生だけでなく、相手や、その家族の人生をも狂わせることになるのだと思い知らされました。そして、交通事故は本当に怖い、と感じました。私も一つ間違えればそうになっていたかもしれないと思うと、今まで軽い気持ちで考えていた自分自身が恥ずかしいです。

交通事故についていろいろと考えていく中で、私はこれまでの自分の認識の甘さを痛感しました。交通事故は、自分が気をつけていても起こります。例えば、信号が青だからとこちらが進んでも、横から信号無視をした自動車があるかもしれません。また、夜間に自転車が無灯火で走っていると、車からは見えないこともあるでしょう。でも一人ひとりが注意することによって、かなりの事故を未然に防ぐことができます。自分の命も大切、他人の命も大切。この単純明快なことが、当たり前を守られる社会をつくっていきたいです。そして父の友人に起きたような悲しい事故が少しでも減るように、また、自分が自転車を乗り始めたころの初心を思い出し、まずは交通ルールを遵守するなど私にできることから始めていこうと思います。

## 活 動

### 犯罪被害者支援活動員養成講座

5月11日～10月26日の間10回開催

【講師：香川県職員、警察官、弁護士、大学教授、臨床心理士、検察・裁判所担当者、被害者ご遺族など】<15名受講>



### 支援活動員養成講座を開催します

2019年度も5月～10月の間計10回の養成講座の開催を予定しております。

受講を希望される方は当センター事務局までご連絡ください。☎087-897-7790



### 継続研修

毎月1回開催

【講師：大学教授、検察庁職員、弁護士、他県の被害者支援センター相談員、臨床心理士、被害者ご遺族など】<毎回約10名参加>



### 性暴力被害者支援センター「オリーブかがわ」支援員養成講座

10月20・27日、11月11・17日 計4回開催

【講師：性暴力救援センター・大阪 SACHICO】<11名受講>



### その他の研修

香川県共同募金会研修会(5月)	全国犯罪被害者支援フォーラム 2018 及び秋季研修会(10月12～14日：東京都)
課題研修(9月3～5日：大阪府)	オリーブかがわ医療者向け研修(11月18日)
中国・四国ブロック事務局長会議(9月7日：島根県)	中国・四国ブロック事務局長会議(1月25日：徳島県)
中国・四国ブロック上半期研修会(9月8・9日：島根県)	中国・四国ブロック下半期研修会(1月26・27日：徳島県)
オリーブかがわスーパービジョン(9月27日)	直接的支援実施研修(2月4～8日：東京都)

### 講話

香川県子ども女性相談センター講演(1月)	安全運転管理者講習(8月)
高松高等裁判所講演(2月)	高松高等検察庁講演(10月)
法テラス香川地方事務所講演(5月)	安全運転管理者講習(2月)
安全運転管理者講習(7月)	

## 関係機関との連携

香川県弁護士会被害者支援委員会(毎月1回)、 テーマ研究会(年4回)	県防連県民大会(10月) 共同募金活動(10月:瓦町フラッグ)
オリーブかがわ関係機関連絡会(2月)	被害者支援連絡協議会(10月:東かがわ警察署)
オリーブかがわ支援キャンペーン(3月:三町 ドーム広場)	暴力団排除キャンペーン(11月:三町ドーム広 場)
県警被害者支援担当者会議(4月)	被害者支援連絡協議会(11月:三豊警察署)
被害者支援連絡協議会(7月:香川県警察本部)	オリーブかがわ支援キャンペーン(3月予定: 三町ドーム広場)
被害者支援連絡協議会(9月:小豆島警察署)	

## 中国・四国ブロック上半期研修会を受講して

ブロック研修は二日に亘って取り行われ、中国・四国からたくさんの方々が参加されました。講師の方は臨床心理士、弁護士などを含む専門家で、被害者支援に必要な基本的知識、技術等を幅広く学ぶことができました。

同行支援のロールプレイでは、裁判の始まる前から終わるまでに起こりうるシチュエーションが様々な想定され、それを皆で演じる課題に取り組みました。同行する二人の支援員の役割分担をして、その時々によさわしいと思われる行動・声かけを行いました。非常に難しかったです。とても勉強になりました。

また、なかなか会うことのない他県の受講生の方々と情報交換をし、日頃の悩みを話し合うなどして親睦を深められたこともよい体験になりました。

支援員 U

## 広報啓発

### ■ パネル展

香川県庁(11/26~11/30)



瓦町フラッグ(11/28~12/4)



じんけんフェスタ(12/8:サンポート)



### ■ LINE スタンプ販売中

内海交通安全協会と協力し、被害者支援&交通安全LINEスタンプを販売しています。

スタンプを購入していただくと、売上金の一部が当センターの活動資金として、犯罪被害者のために使用されます。

スタンプの検索方法は、LINEアプリ スタンプショップの検索画面で「被害者支援 又は 交通安全」と入力してください。



## 多くの方々からのご支援に感謝

### 寄附者(敬称略、順不同)

(平成30年中)

ご支援  
ありがとうございます  
ございます



### 個人

金藤 将弘、宮本 隆義、匿名の方 2名 (計4名)

### 団体

香川県弁護士会、(公財)香川県暴力追放運動推進センター、(医)豊南会 香川井下病院、四国特機(株)、四国ネコス(株)、(一財)香川県交通安全協会教育部、(一財)香川県交通安全協会事務局、富士印刷(株)、(株)パブリック、(社)綾川町社会福祉協議会、(株)エースユニフォーム、岡 義博法律事務所、(株)富士クリーン、タチバナ工業(株)、(有)大原順進堂、(株)美巧社、香川県危機管理総局くらし安全安心課、(株)アイコー印刷従業員一同(募金箱)、(株)中央印刷所、(株)アイコー印刷、丸亀自動車学校設置募金箱、高松自動車学校設置募金箱、コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)香川支店募金箱

香川県警察本部各所属(総務課、広聴・被害者支援課、企画課、人事課、監察課、会計課、厚生課、情報管理課、生活安全企画課、人身安全対策課、少年課、生活環境課、地域課、通信指令課、刑事企画課、捜査第一課、捜査第二課、組織犯罪対策課、鑑識課、科学捜査研究所、交通企画課、交通指導課、交通規制課、運転免許課、交通機動隊、高速道路交通警察隊、公安課、警備課、機動隊、警察学校)、東かがわ警察署、さぬき警察署、高松東警察署、小豆警察署、高松北警察署、高松南警察署、坂出警察署、高松西警察署、丸亀警察署、琴平警察署、三豊警察署、観音寺警察署、四国管区警察局香川県情報通信部 (計65団体)

### ホンデリング

大石 智子、川東 祥次、兔子尾 陽子、香川県警察本部(生活安全企画課)、東かがわ警察署、高松南警察署、丸亀警察署、当センター職員

## ホンデリングにご協力をお願いします

不要になった本・CD・DVDでご寄付をいただく社会貢献プロジェクトです。



あなたの本のご寄付で、  
犯罪被害に遭われた方々への支援の輪が広がります。

あなたの本が、犯罪被害に遭って体や心を傷つけられたり、大切なものを失ったりして苦しんでいる方々への支援活動へ繋がります。犯罪被害に遭われた方が安心して生活を取り戻せるように、力を貸してください。

### お申し込み方法 (①→③へ)

- ①本・CD・DVD・ゲームを「贈与承諾書」※とともに梱包
- ②買い取り業者「株式会社バリューブックス」[TEL0120-826-295](tel:0120-826-295)に電話
- ③宅配業者(ヤマト運輸)がご指定の時間に引き取り(5点以上で着払い)

その後、「株式会社バリューブックス」にてご寄付いただいた本等を査定し、査定金額が全国被害者支援ネットワークを通じて、かがわ被害者支援センターに寄付されます。

※「贈与承諾書」は、当センターのホームページからダウンロードしてください。

※ インターネット専用フォームからお申し込みできます。

「ホンデリング」で検索して下さい。<https://www.hondering.jp/>

## 「被害者支援自動販売機」設置場所

被害者支援自動販売機を設置していただくことによって、社会貢献をされている企業・団体及び個人の方々です。

設置にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

(平成 30 年 12 月末現在 150 台：順不同、敬称略)

### 東かがわ市

ネットヨタ高松(株)さつき店、香川県農業協同組合白鳥支店、(有)マイルドケアたんぼぼの家  
(株)JA 香川県オートエナジー (ジャスコ 大内 SS)  
ひとの駅さんぼんまつ、東かがわ市役所、東かがわ警察署

### さぬき市

オレンジタウンゴルフセンター藤井学園ゴルフ練習場  
(老福) 真清水荘、(株)さんがわ自動車学校、さぬき市民病院  
志度ゴルフセンター、藤井学園寒川高校第二青雲寮  
(株)JA 香川県オートエナジー (ジャスコ 長尾 SS、鴨部 SS) 【2 台】  
道の駅ながお、さぬき警察署

### 三木町

(株)エムケーインデクト三木リサイクルプラント  
東洋工業(株)三木工場 【2 台】、高松東警察署  
(株)村上組 氷上水道工事現場



### 小豆島町

小豆島オリーブ公園 (オリーブ記念館)、サン・オリーブ温泉 (サン・オリーブ)  
小豆島中央病院、小豆島町役場、小豆警察署

### 土庄町

小豆島オリーブタウン停留所、土庄町域学連携交流会館「夢すび館」、東洋建設(株)土庄町工事現場

### 高松市

東洋工業(株)本社 【3 台】、高橋石油(株) (本社、松縄店、三木町給油所) 【3 台】、ここにこライフ高松  
(有)四国ハニー、(株)バジェットレンタカー四国本社、高松自動車学校、(株)えびす石材土木 【3 台】、(有)佐藤  
建材運輸、岡本カイロプラクティック院、香川舗道(株)高松営業所、リユーテック朝日町サービスセンター  
ルビー商會、(株)村上組 【2 台】、(有)中西製麺 【2 台】、椋川ダム建設工事事務所 (大成・飛鳥・村上特定  
建設工事共同企業体) 【6 台】、香川県農業協同組合 (中央地区営農センター、太田支店、本店一宮別館、  
ふれあいセンター高松市中央店) 【4 台】、(株)村上組建設工事現場 【2 台】、ホンダオートテラス高松  
(株)JA 香川県オートエナジー (一宮 SS、ジャスコ 川東 SS) 【2 台】、コインランドリーニカタ十川店、(有)鷺  
之山石材商會、(株)NTT ドコモ四国支社、西部バイパス幹線工事 (大成・村上特定建設工事共同企業体)  
菱弘自動車(株)、オリーブテコンドークラブ高松道場、(株)アイコー印刷 【2 台】、タチバナ工業(株)青葉工業  
(株)成合作業所、(株)村上組 屋島大橋橋梁修繕工事現場、香川県警察本部 【2 台】、香川県警察本部運転免  
許センター、高松北警察署、高松南警察署

## 綾川町

(株)フレッシュデポ綾上事業所、(株)JA 香川県オートエナジー(昭和 SS、ジャスコ 滝宮 SS)【2台】  
綾川町ふれあい運動公園、綾川町本庁舎、高松西警察署

## 坂出市

三菱化学(株)坂出事業所、少林寺拳法坂出専修道院、(社福)敬世会特別養護老人ホームきやま  
(有)川津土建、美容室ライフステージ、山下うどん、(一社)坂出市医師会  
まえた整形外科医院、(株)JA 香川県オートエナジー(浜街道坂出 SS)、(社福)敬世会 緑の里  
坂出警察署

## 宇多津町

ネットトヨタ高松(株)もみの木店、(株)フレッシュデポ宇多津事業所、YKK AP(株)四国製造所【3台】

## 丸亀市

(医社)誠和会中野外科胃腸科医院、香川県農業協同組合讃さん広場、マルタフード今津店  
飯山北地区コミュニティ推進協議会、(株)JA 香川県オートエナジー(岡田セルフ SS)  
(株)T・D・S 丸亀自動車学校、丸亀市城南コミュニティセンター(ふれ愛の町みなみをつくる会)  
丸亀警察署

## 多度津町

(株)アムロン鉄鋼本部テクノ多度津【2台】、高島総業(株)、白方公民館((公財)多度津町文化体育振興事業団)

## 善通寺市

西日本高速道路(株)四国支社 香川高速道路事務所、宮川製麺所、(社福)善通寺市社会福祉協議会  
善通寺運転免許センター

## 琴平町

(医社)たけお会岩佐病院、都村製作所(株)【3台】、琴平警察署

## まんのう町

まんのう町役場琴南支所(まんのう町役場職員組合)、(株)JA 香川県オートエナジー(協栄 SS)、道の駅  
ことなみ

## 三豊市

(株)JA 香川県オートエナジー(豊中ふれあい SS、宝山 SS、高瀬 SS)【3台】、三豊警察署  
青葉工業(株)平成 29-30 年度鴻ノ池改良工事

## 観音寺市

(医社)豊南会 香川井下病院、観音寺市役所、観音寺市世界のコイン館(観音寺観光開発(株))  
(株)フードレック【4台】、(株)JA 香川県オートエナジー(豊南ふれあい SS)、(株)パブリック  
観音寺警察署

この自販機のジュースを  
買ったなら、困っている人の  
役に立つんだよ！



## 協力飲料水メーカー

コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)、FVジャパン(株)、(株)伊藤園、香川ペプシコーラ販売(株)  
(株)ジャパンビバレッジ中四国、サントリービバレッジソリューション(株)、(株)ワールドフーズ  
(株)ウエストアライアンス、(株)光洋、(株)石原商店

### ・・・「かがわ被害者支援自動販売機」(寄附金付き自動販売機)設置のお願い・・・

被害者支援自動販売機は、自動販売機設置者の売上金の一部を「かがわ被害者支援センター」が寄附を受ける仕組みです。寄附金は、当センターの被害者等の支援のために活用させていただきます。

また、被害者支援自動販売機は、多くの人々が集まる市街地や広場等に設置されることで、一人でも多くの方が当センターの活動及び犯罪被害者への理解を深める広報的役割も担っています。

支援の輪を広げるため、被害者支援自動販売機の設置にご協力をお願いします。

## 設置方法

いたって簡単で、賛同する旨のご連絡をいただければ、現在設置されている自動販売機の各メーカーと相談させていただき、協定を結べばすぐに実現できます。

新設の場合はもっと簡単で、ご連絡をいただければ、各メーカーに紹介して新たな自動販売機を設置させていただきます。

ご支援をいただける場合は、当センター(087-897-7790)までご連絡をお願いします。

## みなさまからのご支援、ご協力をお願いします

当センターは、皆様からの会費・寄付金などにより運営しています。被害者の方が安心して相談できるセンターでありたいと思っています。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

◎賛助会員 個人 一口 千円より  
団体 一口 一万円  
◎寄附金 随時お受けしています

### 会費・寄附振込先

お振込先：ゆうちょ銀行

口座番号：01620-0-9852

口座名義：公益社団法人 かがわ被害者支援センター

## 税制上の優遇措置について

当センターへの賛助会費、寄附金は、公益社団法人等寄附金として、所得税、法人税等税制度上、寄附優遇措置の対象になります。

また、個人の方からの賛助会費、寄附金は、税額控除対象の公益法人への寄附金として、税額控除の対象になります。詳しくは国税庁のHPでご確認ください。

## お問合せ先

香川県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体  
公益社団法人 かがわ被害者支援センター事務局  
760-0018 高松市天神前7番18号



かがわ被害者支援センター  
シンボルマーク

よろしくお願ひします

TEL  
087-897-7790

FAX  
087-897-7778

・・・一人で悩まずお電話下さい・・・

犯罪や事故にあわれた方やご家族のための相談電話です

**相談電話 087-897-7799**

**(平日 10:00~16:00)**

**相談・支援無料 秘密厳守**

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

**公益社団法人 かがわ被害者支援センター**

<http://sien-kagawa.sakura.ne.jp/>

表紙の写真：植村 氏 撮影（梅）